

産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
滋賀県	7	4	3	66.7%	1	有	1	3地区のうち2地区は目標販売額を達成することができたが、1地区については気象の影響で生産量が伸びず、目標を達成することができなかった。 目標販売額を達成した1地区についても、目標面積が達成できていないため、引き続き面積拡大に取り組むよう指導を行う。目標販売額未達の取組については、課題となった加工工程の改善、省力化を進めており、平年の気候であれば目標達成は可能である。引き続き生産量増加に向けて、取組主体、市、地域協議会、県が連携して指導していく。	成果目標の県平均達成率は90%未満であり、県に対し、改善措置の提出を求める。 成果目標が達成されなかった1地区について、要因である異常気象に対応する技術指導の徹底を図ることが必要。目標に達したものの一部、十分な成果が得られなかった地区については、計画当初の目標が達成されるよう検証と課題解決に向けた取り組みを図る必要がある。
京都府	5	1	4	75.0%	1	有	1	府平均達成率は75.0%であり、全体として目標を達成していない。 成果目標が未達成となった京都府農業再生協議会については、価格の下落に加え、生産量の減少の影響があったため、当局としても関係機関と連携し、生産量を確保するために技術的な支援・改善指導を行う。	成果目標の府平均達成率は90%未満であり、府に対し、改善措置の提出を求める。 成果目標が達成されなかった1地区について、価格下落に対応する販売戦略の検討や生産量を確保するための技術指導の徹底を図る必要がある。
大阪府	2	2	0	-					
兵庫県	52	40	12	78.6%	6	有	4	県平均達成率は78.6%で、昨年度が評価年度であった12地区中6地区で目標達成率が90%未満であった。うち4地区では、単収が目標に達しなかったことが成果目標未達の主な要因であるため、栽培技術の向上などにより単収を増加させ、成果目標を達成するよう指導する。その他の2地区では当初想定していなかった機械の更新や修繕等により目標までコストを下げるができなかったため、今後、一層の規模拡大や作業の効率化により成果目標を達成するよう指導する。	成果目標の県平均達成率は90%未満であり、県に対し、改善措置の提出を求める。 成果目標が達成されなかった6地区のうち4地区（販売額向上の目標）については、販売単価の下落が主な要因であるため、単収向上のための技術指導の徹底を図る必要がある。 ほかの2地区（生産コスト削減の目標）については、経営規模の拡大や、計画的な機械整備により、作業・経営の効率化を進めるよう改善・指導を行う必要がある。
奈良県	12	7	5	60.0%	2	有	2	県平均達成率は60%で、目標達成出来ていない。昨年が評価対象年度であった地区は5地区あり、そのうち奈良市地域農業再生協議会の2地区、山添村地域農業再生協議会の1地区の計3地区で目標達成出来た。 一方で、奈良県農業再生協議会の1地区、山添村地域農業再生協議会の1地区の計2地区で目標達成出来なかった。 また、昨年の報告で目標未達成であった五條市地域農業再生協議会の取組についても目標達成出来ていない。 奈良県農業再生協議会と五條市地域農業再生協議会の取組については、大雨や高温といった環境要因と害虫が原因であることが判明しているため、取組主体に対して適切な栽培管理を行うよう指導していく。 山添村地域農業再生協議会の取組については、収量及び品質向上に向けた栽培管理を行うよう指導していく。	成果目標の県平均達成率は90%未満であり、県に対し、改善措置の提出を求める。 成果目標未達2地区においては、いずれも主たる要因が異常気象及び病虫害の発生によるものであることから、予察とほ場への技術指導を徹底する改善計画が必要。
和歌山県	6	4	2	39.8%	2	有	2	県平均達成率は39.8%で、今回評価対象（目標年度が令和元年度）となる2地区とも、成果目標を達成できていない。目標未達成の主な要因としては、気象の影響によるブランド米の収量の減、販売先の確保難による売上の伸び悩みが考えられる。早期目標達成に向けて、今後も、県、市町村等関係機関が連携して、事業実施主体への指導・支援をさらに強化していく必要がある。	成果目標の県平均達成率は90%未満であり、県に対し、改善措置の提出を求める。 成果目標が達成されなかった2地区について、主たる要因である異常気象への技術指導、ブランド販売戦略の検証価格下落に対応する販売戦略や生産量を確保するための技術指導の徹底を図る必要がある。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【近畿農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
滋賀県	日野町	日野町農業再生協議会	7	露地野菜(日野菜)	②-a単位面積当たり販売額の10%以上の増加	305,367円/10a (H28)	336,400円/10a	247,917円/10a	-185.1%	目標とする販売額、生産量、面積が達成できるよう、県普及指導員による指導や、滋賀県食品安全監視センターによる製造現場への指導など、引き続き関係機関が連携して指導していく必要があるため。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【近畿農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
京都府	和束町、 南山城村	京都府農業 再生協議会	2	畑作物・地域 特産物(茶)	②-a単位面積当たり販 売額の10%以上の増加	595,000円/10a (H28)	655,000円/10a	506338円/10a	-147.8%	寒害や干ばつ等による生産 量の減少に加え、てん茶の 平均単価の下落も重なり、 目標達成率が△147.8%と なっており、成果目標の達 成には至らなかった。今後 は生産量及び品質を確保 するために、関係機関と連 携を行い、一番茶期の防霜 対策等の指導を実施すると ともに、付加価値向上に向 けた、オリジナル商品のPR や輸出等新たな販路開拓 に努めるよう、地域協議会 へ指導を行う。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【近畿農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
兵庫県	朝来市	朝来市農業再生協議会	2	水稻	②-a単位面積当たり販売額の10%以上の増加	90,732円/10a (H28)	108,008円/10a	98,570円/10a	45.4%	栽培が難しい「コウノトリ育む米」の単収低迷や作付面積拡大計画の未達成等により、成果目標の達成率が45.4%となっており、目標達成ができなかった。成果目標の達成に向けて単収向上に取組むよう、再生協議会への指導を行う。
兵庫県	佐用町	佐用町地域農業再生協議会	7	水稻	②-a単位面積当たり販売額の10%以上の増加	92,467円/10a (H28)	106,094円/10a	83,405円/10a	-66.5%	単収の低迷等により成果目標の達成率が△66.5%となっており、目標達成ができなかった。成果目標の達成に向けて品質や単収の向上に取組むよう、再生協議会への指導を行う。
					①-a生産コストの10%以上の削減	112,306円/10a (H28)	88,832円/10a	89,628円/10a	96.6%	成果目標を90%以上達成している。
兵庫県	佐用町	佐用町地域農業再生協議会	9	水稻	①-a生産コストの10%以上の削減	132,287円/10a (H28)	110,598円/10a	115,351円/10a	78.1%	取組主体の取組目標は達成できているが、地域の生産コストが削減できなかったことから、成果目標の達成率が78.1%となっており、目標達成ができなかった。成果目標の達成に向けて一層のコスト削減に取組むよう、再生協議会への指導を行う。
兵庫県	丹波市	丹波市地域農業再生協議会	29-1	畑作物・地域特産物(黒ごま)	②-a単位面積当たり販売額の10%以上の増加	114,108円/10a (H28)	134,933円/10a	108,106円/10a	-28.8%	品質の向上により販売単価は向上したが単収が減少していることから、成果目標の達成率が△28.8%となっており、目標達成ができなかった。成果目標の達成に向けて単収の向上に取組むよう、再生協議会への指導を行う。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【近畿農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
奈良県	山添村、奈良市	山添村地域農業再生協議会	2	畑作物・地域特産物(茶(せん茶))	②-a単位面積当たり販売額又は所得額の10%以上の増加	435,019円/10a (H28)	479,502円/10a	422,547円/10a	-28.0%	昨年度の霜害により茶の単価は大きく落ち込んだが、その影響を考慮しても目標達成率が△28%となっており、目標達成には至らなかった。 今後は関係機関と連携し、収量及び品質の向上に向けた栽培指導を実施する。
奈良県	宇陀市	奈良県農業再生協議会	1	野菜(大和まな、千筋みずな、大和きくな等)	②-b総販売額の10%以上の増加	13,459万円 (H27)	16,528万円	11,582万円	-61.1%	大雨や害虫の被害等による影響で目標達成率が△61.1%となっており、成果目標の達成には至らなかった。 今後は関係機関と連携し、排水性の向上や防除体系について指導を実施する。

別添様式3

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【近畿農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R1)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
和歌山県	橋本市	橋本市農業再生協議会	2	水稻	②-b総販売額の10%以上の増加	50,395,744円(H27)	56,828,000円	48,445,819円	-30.3%	高温障害の発生により、目標年度における達成率は△30.3%(価格補正前約44%)となった。 成果目標達成のためにはブランド米販売量の増加が必須であり、栽培管理の徹底及び選別の強化等によるブランド米比率の向上を支援していくとともに、再生協議会への指導を行う。
和歌山県	上富田町	上富田町農業再生協議会	1	果樹(南高梅、八朔、清見)	②-b総販売額の10%以上の増加	471,297,182円(H27)	839,649,061円	764,324,082円	79.6%	ドライフルーツの販売先の確保に努めるとともに、消費者ニーズに合わせたパッケージに改良するなどして売上は対前年比129%まで伸ばしたが、目標達成率は79.6%となっている。成果目標の達成に向けて、更なる販売先の確保や取引ニーズに合わせた商品力のアップを目指す必要があり、再生協議会への指導を行う。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。